

# SAWATAウッドデザイン賞 徳山高専4人が大賞

—澤田建設—

澤田建設（防府市開出西町、澤田健規社長）は、学生向けデザインコンテスト「SAWATAウッドデザイン賞2024」を行い、11月30日、防府市駅南町のKAZAGURUMAキャンパスで表彰式を開催。SAWATAウッドデザイン賞（大賞）には、徳山高専の中村太一さんらの「木とあそび」が選ばれた。

表彰式で澤田社長は「木材の利用促進を目指してコンテストを開催している。みなさんの作品には、それぞれに努力の結晶を見ることができた。今後、学生生活や将来建築の道を目指すみなさんにとって良いスタートを切れるコンテストであったと思う」とあいさつし、受賞者一人ひとりに賞状と記念品を贈った。

大賞に輝いた江副聖さん、野原田菜さん、三津田佳歩さんは「実際にあったら良いな、楽しいなと思うグランピング施設を4人で考え、みんなで意見を出し合った。設計は楽しく、その作品が賞に選ばれた。あたら行きたいと思う施設なので実際にできてほしい。集材材やC

LTについて知り学ぶことができた」と喜びを語った。続けて「寝室兼居間は、一番目立たせるためにいろいろと調べた。集成材・CLTメーカーの社屋のデザインが気に入って、CLTを菱形に組み、ピクチャーウィンドウ

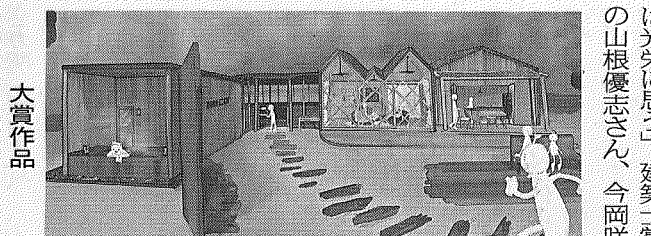
としての役割もある。露天風呂は海が見える立地を生かし、海とつながるようにしている。5月頃に行ったらうみが見えたらいいな、施設を利用することできれいになればいいな、この場所を計画した」とコンセプトを語った。

また、社長賞を受賞した山本隼平さん、末田光さんは「木材利用を考える良い機会になった。この経験を糧に頑張りたい」「卒業前にグランピングが好きな先輩を誘い、木材利用に尽力している企業のコンペに参加できたことは光栄に思う」。建築士賞の山根優志さん、今岡咲

絵さん、原田志吾さんが「ここでグランピングをしたいなと思う施設ができ、楽しくつくることができた」「木材について新しい発見があった。防府で生まれ育ち、地元のコンペで賞がいただけた」「設計や模型をつくる時間も楽しかった。グループではないと思いつかない発想で設計した。その結果がこの賞につながった」。審査員特別賞の柘本優心さんは絵のタッチや色彩で、野島の良さや木の温もりを最大限生かしたデザインができた」とそれぞれ述べた。



受賞者らで記念撮影



大賞作品

4回目となる今回のデザインコンテストでは、「野島の自然で過ごすグランピング」をテーマに作品を受け付け、13作品の応募があった。各賞受賞者は次の通り。（敬称略）

▽受賞者名（学校名）  
大賞 中村太一、江副聖、野原田菜、三津田佳歩（徳山工業高等専門学校土木建築工学科）  
「木とあそび」  
原田志吾、川元花菜（徳山工業高等専門学校土木建築工学科）  
「光と木漏れ日の間。野島の自然を光を用いて味わう。光に重きを置いて建物家をのような形にしないことで自然からの光を感じる。宿泊施設は壁を設けず、トイレと浴室を別に設けることで光を意識を向ける」

審査員特別賞 柘本優心（山口県立下関工科高校建設工学科建築コース）  
「自然と遊ぶロマンの宿。野島の自然で過ごすグランピング。秘密基地のような遊び心あふれ、自然とより調和するよつに素材を活かしたデザイン。丸太をメインにすることで、長寿命で断熱性の高さ、自然の景観を保つなど地球にやさしい施設

また、社長賞を受賞した山本隼平さん、末田光さんは「木材利用を考える良い機会になった。この経験を糧に頑張りたい」「卒業前にグランピングが好きな先輩を誘い、木材利用に尽力している企業のコンペに参加できたことは光栄に思う」。建築士賞の山根優志さん、今岡咲

絵さん、原田志吾さんが「ここでグランピングをしたいなと思う施設ができ、楽しくつくることができた」「木材について新しい発見があった。防府で生まれ育ち、地元のコンペで賞がいただけた」「設計や模型をつくる時間も楽しかった。グループではないと思いつかない発想で設計した。その結果がこの賞につながった」。審査員特別賞の柘本優心さんは絵のタッチや色彩で、野島の良さや木の温もりを最大限生かしたデザインができた」とそれぞれ述べた。

▽山本隼平（山口県立下関工科高校建設工学科）  
「自然と遊ぶロマンの宿。野島の自然で過ごすグランピング。秘密基地のような遊び心あふれ、自然とより調和するよつに素材を活かしたデザイン。丸太をメインにすることで、長寿命で断熱性の高さ、自然の景観を保つなど地球にやさしい施設

審査員特別賞 柘本優心（山口県立下関工科高校建設工学科建築コース）  
「自然と遊ぶロマンの宿。野島の自然で過ごすグランピング。秘密基地のような遊び心あふれ、自然とより調和するよつに素材を活かしたデザイン。丸太をメインにすることで、長寿命で断熱性の高さ、自然の景観を保つなど地球にやさしい施設

また、社長賞を受賞した山本隼平さん、末田光さんは「木材利用を考える良い機会になった。この経験を糧に頑張りたい」「卒業前にグランピングが好きな先輩を誘い、木材利用に尽力している企業のコンペに参加できたことは光栄に思う」。建築士賞の山根優志さん、今岡咲

絵さん、原田志吾さんが「ここでグランピングをしたいなと思う施設ができ、楽しくつくることができた」「木材について新しい発見があった。防府で生まれ育ち、地元のコンペで賞がいただけた」「設計や模型をつくる時間も楽しかった。グループではないと思いつかない発想で設計した。その結果がこの賞につながった」。審査員特別賞の柘本優心さんは絵のタッチや色彩で、野島の良さや木の温もりを最大限生かしたデザインができた」とそれぞれ述べた。

▽山本隼平（山口県立下関工科高校建設工学科）  
「自然と遊ぶロマンの宿。野島の自然で過ごすグランピング。秘密基地のような遊び心あふれ、自然とより調和するよつに素材を活かしたデザイン。丸太をメインにすることで、長寿命で断熱性の高さ、自然の景観を保つなど地球にやさしい施設

審査員特別賞 柘本優心（山口県立下関工科高校建設工学科建築コース）  
「自然と遊ぶロマンの宿。野島の自然で過ごすグランピング。秘密基地のような遊び心あふれ、自然とより調和するよつに素材を活かしたデザイン。丸太をメインにすることで、長寿命で断熱性の高さ、自然の景観を保つなど地球にやさしい施設